

2012年1月22日 千葉大学医学部附属病院 市民公開講座



# 知っておきたいがん治療と支援体制 看護

千葉大学医学部附属病院 がん看護専門看護師 藤澤陽子

# 手術・放射線・化学療法・・・

- 自分のからだの状態はどうなっているの？
- それぞれの治療のもたらすメリットとデメリットは？
- 今自分はどんな状況になっているの？



自分にとって必要な情報をつめる

# がん情報さがしの10ヶ条

1. 情報は”力”。あなたの療養を作用することがあります。活用しましょう。
2. あなたにとって、いま必要な情報は何か、考えてみましょう。
3. あなたの情報を一番多く持つのは主治医。よく話してみましよう。
4. 別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用しましょう。
5. 医師以外の医療スタッフにも相談してみましよう。

国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービスより  
[http://gamjoho.jp/public/qa\\_links/card/10.html](http://gamjoho.jp/public/qa_links/card/10.html)

# がん情報さがしの10ヶ条

6. がん拠点病院の相談支援センターなど、質問できる窓口を利用しましょう。
7. インターネットを活用しましょう。
8. 手に入れた情報が本当に正しいかどうか、考えてみましょう。
9. 健康食品や補完代替医療は、利用する前によく考えましょう。
10. 得られた情報をもとに行動する前に、周囲の意見を聞きましょう。

国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービスより  
[http://gamjoho.jp/public/qa\\_links/card/10.html](http://gamjoho.jp/public/qa_links/card/10.html)

# 看護師がお手伝いします

安心して、納得して治療が受けられるように

- 手術、放射線、化学療法などの治療の流れの説明
- 主治医との話し合いのお手伝い



治療によるつらさを和らげたり防ぐために

- 日常生活上の工夫(食事、感染予防など)



# 緩和ケア



- 病気が進行してからだけではなく、  
がんが見つかったとき、**治療中**から。
- からだの辛さだけではなく、**こころ**の辛さや、  
**生活面**での辛さにも目を向ける。

つらさを和らげて、  
その人らしく、  
よりよい生活が送れるように

# 病気や治療に伴うつらさ

- 痛み
- 吐き気
- 食欲がでない
- 息苦しい
- 不安
- 気持ちの落ち込み



など

# あなたの辛さ、希望を 伝えてください

- 痛み、など、辛さはその人が一番よくわかる
- 大事にしたいことは人それぞれ

すべてを0にすることは  
難しいかもしれません。

でも、  
できるだけ和らげて、  
ご希望に沿った生活を送る  
お手伝いをします。





# 患者さんを支えるご家族

- つらそうな患者さんに何もしてあげられない  
どうやって接したらいいのかわからない

特別なことをすることが必要とは限りません。

- 病状を知らせたら落ち込んでしまうのでは？

患者さんの要望に沿っていますか？話したいことはお話しできていますか？

- 家族も疲れてしまう……

ご家族もしっかりと休息を。

自分の生活も大事に。



病院には、患者さんにご家族をサポートする  
さまざまな職種がいます。

医師

管理栄養士

看護師

薬剤師



理学療法士  
作業療法士  
言語聴覚士

ソーシャルワーカー

事務

臨床検査技師

などなど

# 同じ経験をもつ仲間同士の支えあい

- がんおしゃべりサロン

がん患者さんやご家族がお互いに病気や治療中の生活について話をして助け合うことを目的としています。看護師が話し合いをサポートします。

- いのはなルーム

同じ立場のがん患者さんやご家族同士が情報交換など自由に話ができる場所を提供しています。病院のスタッフは交えずに、患者さんやご家族が人目を気にせず話し合える場としてご利用ください。

\* 千葉大学医学部附属病院がん情報サイトや院内のポスターをご参照ください。